

詩はこころをどのように描いたか 2F



●私が出会った表現者たちⅠ

寺山修司のラブレター

2F



春は文学館で きゅん。

2018.4.14[土]—7.10[火]

開館時間=9:00~17:00 ※入館は30分前まで 休館日=水曜日

観覧料=一般 400円 ※常設展示もご覧になれます ※高校生以下無料

※障害者手帳等をお持ちの方とその介護者1名は無料 ※3階オープンギャラリーは無料

※観覧無料の日:4月14日[土](展覧会初日)、6月9日[土]、16日[土]、23日[土](イベント開催日)、7月5日[木]~8日[日](前橋七夕まつり)

〒371-0022 群馬県前橋市千代田町三丁目12-10

Tel.027-235-8011 Fax.027-235-8512

<http://www.maebashibungakukan.jp/>



萩原朔太郎記念・水と緑と詩のまち

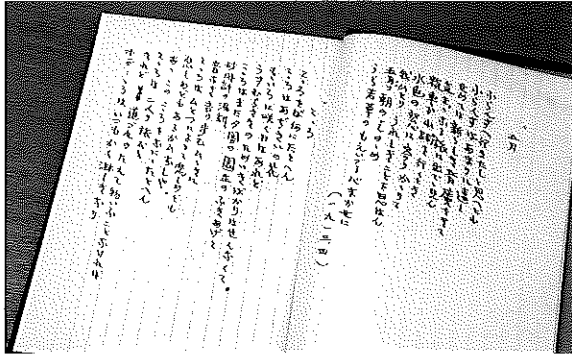
前橋文学館

春は文学館で きゅん。

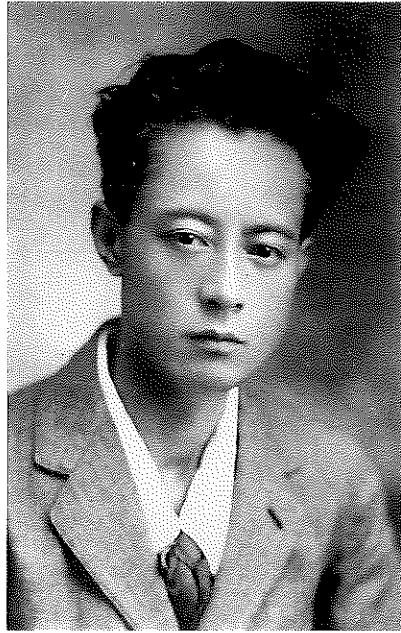
2018.4.14[土]—7.10[火]

2F 詩はこころをどのように描いたか

詩人たちはその詩作品のなかに、さまざまな感情や心をこめてきました。本展では、萩原朔太郎ら前橋の詩人たちや茨木のり子、谷川俊太郎、辻征夫など近代詩から現代詩までを取り上げて、詩で心をどのように表現してきたかを詩集、原稿等からご紹介いたします。



萩原朔太郎自筆ノート「習作集第八巻」(「愛憐詩篇ノオ」前巻/復刻)



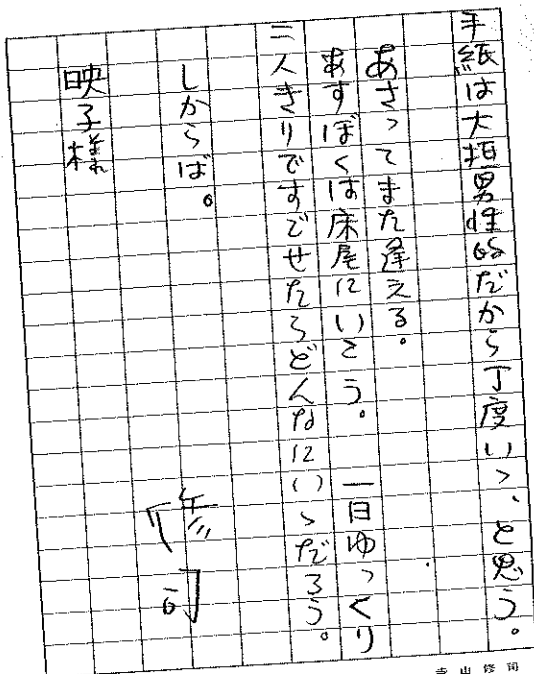
萩原朔太郎(大正6年ころ)

3F 寺山修司のラブレター 私が出会った表現者たち I

あわせて、萩原朔美館長が出会った表現者たちを取り上げる展示の第一弾として、多方面で活躍し「言葉の錬金術師」の異名をとる寺山修司が、妻となる九條映子(今日子 / 松竹歌劇団所属、女優)宛に綴ったラブレターを展示紹介いたします。

この春、前橋文学館で「きゅん。」としてみませんか。

協力：株式会社テラヤマ・ワールド / 株式会社ポスター・ハリス・カンパニー / 佐々木英明 / 笹目浩之 / 寺山偏隆 / 三沢市寺山修司記念館 (60音順・敬称略)

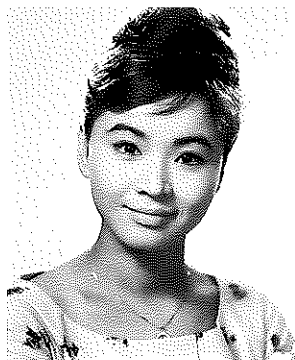


寺山修司が九條映子に宛てたラブレター*

寺山修司



寺山修司*



九條映子*

*画像提供：株式会社テラヤマ・ワールド

記念イベント

ポエムリーディング「心を読む」

2018年6月9日[土] 3階ホール

14:00開演(開場13:30)

出演

新井隆人(詩人)、奈良のりえ(アナウンサー)

長井学(ピアノ奏者)、萩原朔美(前橋文学館館長)

第14回群馬県高校放送コンクール入選者

対談「我らの寺山修司体験」

2018年6月16日[土] 3階ホール

14:00開演(開場13:30)

出演

安藤紘平(早稲田大学名誉教授、映像作家)

萩原朔美(前橋文学館館長)

前橋文学館リーディングシアターvol.5

寺山修司作「青森県のせむし男」

2018年6月23日[土] 3階ホール

14:00開演(開場13:30)

※各回先着100人 参加費無料

5月13日[日] 9:00より電話で受付開始

027-235-8011まで

学芸員による展示解説

4月21日[土] 5月20日[日]

6月17日[日] 7月7日[土]

各日とも13:30~14:30

観覧券をご購入の上、2階展示室にお集まりください。

※7月7日[土]は観覧無料です。

アーツ前橋展覧会情報

横堀角次郎と仲間たち

草土社の細密画から、郷里赤城山の風景まで

2018年3月17日[土]~5月29日[火]

TEL.027-230-1144

<http://www.artsmaebashi.jp/>



萩原朔太郎記念・水と緑と詩のまち

前橋文学館

〒371-0022 群馬県前橋市千代田町三丁目12-10

TEL.027-235-8011 FAX.027-235-8512

<http://www.maebashibungakukan.jp/>



アクセス(交通案内)

電車 JR前橋駅から徒歩約20分

上毛電鉄中央前橋駅から徒歩5分

自動車 関越自動車道 前橋ICから車で約15分

市営パーク城東のご利用に際しては、駐車券に割引処理をいたします。